

平成26年度海老名市介護保険運営協議会第1回会議 結果

日 時：平成26年6月27日（金）
午後1時30分～午後2時20分
場 所：海老名市役所 701会議室

出席委員 14名

高橋委員、山川委員、山名委員、久田委員、小賀坂委員、花田委員、平本委員、樋口委員、橋本委員、内田委員、吉野委員、千葉委員、西海委員、三田委員

事務局（保健福祉部） 8名

横山保健福祉部長、橋本保健福祉部次長、小澤高齢介護課長、
荒井介護保険係長、萩原高齢者支援係長、山本介護認定係長、宮台主任主事

傍聴者 なし

1. 開 会 （司会:小澤高齢介護課長）

2. 事務局自己紹介

3. 会長あいさつ（高橋会長）

お忙しいところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

本日は、平成26年度第1回目の介護保険運営協議会でございます。

皆さますでにご承知のとおり、介護保険制度は平成12年に創設され、老後の安心を社会全体で支える仕組みとして定着してきました。この間(かん)、認知症高齢者の増加、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦のみ世帯の増加、都市部における急速な高齢化など、介護保険を取り巻く状況が変化してきています。

国では、平成27年度からの制度改正に向けて、在宅医療と介護連携の推進などの地域支援の充実や費用負担の公平化などについて、現在、参議院で審議されているところです。

これまでの枠にとらわれずに、増加する一方の高齢者に対し、「高齢者対策」や「高齢者福祉」の観点を併せて、総合的に取り組んでいかなければならないものと考えております。

さて今年度は、27年度から29年度までの3年間を計画期間とする第6期のプランを策定します。

今回策定する第6期の事業計画においては、2025年、いわゆる団塊の世代が75歳以上となる年ですが、これを見据えた目標設定が必要となります。

第6期計画の策定に当たり、さまざまな視点からのご意見をいただければと思います。

どうぞ、よろしく申し上げます。

※横山保健福祉部長退席。

4. 議 題(進行:高橋会長)

(1)平成25年度介護保険実施状況について(荒井係長)

- ・海老名市の第1号被保険者数 27,830 人。
高齡化率は 21.4%。(全国は 24.9%)
- ・要介護認定者は 3,533 名。前年度に比べ 5.4%増。
高齡者人口に占める割合は 12.3%
- ・要支援1・2、要介護1の軽度者の数が急激に伸びている。
- ・平成 25 年度中の要介護認定件数 3,345 件のうち、新規認定は 799 件。
- ・介護保険事業 歳入 58 億 302 万円・歳出 55 億 9,952 万円。
- ・保険料段階を細分化し 10 段階 12 区分へ。
- ・現年分の収納率は 98.9%と高い水準。
- ・保険給付費全体 50 億 4,212 万 6 千円。前年度に比べ 5.8%増。
- ・地域支援事業は介護予防事業と包括的支援事業・任意事業に大別される。
- ・介護認定を受けないよう運動器の機能向上、認知・うつ・閉じこもり予防、栄養改善及び口腔機能の向上を図る介護予防事業を実施。
- ・包括的支援事業は、市内 6 箇所の地域包括支援センターを運営する事業で、社協など4法人に委託しています。

委員:第 6 期高齡者保健福祉・介護保険事業計画に関するアンケートの結果は8月にもらえるのか。

事務局:8月中にはアンケート結果を出したい。

委員:介護予防事業が大事であると考えてるので、いきいき運動や口腔機能の向上などの事業を進めてほしい。次回会議までに、スライドなど目で見てわかるような資料があれば現状がわかると思う。

委員:私も予防事業が大事だと考える。教室などの回数が増えているのはいいことだと思うので、26年度も回数が減ることなく進めてほしい。

事務局:介護予防事業には更に力を入れていきたいと考えています。

委員:介護予防教室の参加者が毎回同じ人が参加しているように感じる。

事務局:1年に2回は受けられないような制限はあります。2年目については、申込み形式になり抽選となるので、同じ人が参加することはある。

委員:全員参加などは考えられないか。

事務局:体操など身体がぶつかってしまうようなものもあるので難しいが、教室によっては考えていきたい。

委員:二次予防事業の認知度が低い。二次予防事業の対象となったとしても、本人は元気だという認識の人が多いので受講する人が少ないのではないか。包括ではパネル展をしたが興味を示した人は少なかった。

事務局:積極的なPRをしていきたいと考えている。

委員:ボランティアポイントと合わせてみてはいかがか。

事務局:今年度から始めた健康マイレージでは、講演会に来た人にはポイントが加算され、貯めると抽選で自転車などが当たるなどの特典がある。より一層のPRをしていきたいと考える。

委員:対象者にどうやってPR、広報をしていくか重要である。

事務局:いろいろなところに出ていきPRしたいとは考えている。のぼり旗などでのPRはしている。

(2)第6期高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定スケジュールについて(荒井係長)

- ・今年度の運営協議会の開催は5回を予定している。
- ・第4回に市長から介護保険料の諮問があり、第5回において答申案をまとめる。
- ・委員の任期が27年3月までとなっているため、今年度は改選時期にあたる。

(3)その他

特になし

5. 閉会(山川副会長)

平成26年度第1回介護保険運営協議会の閉会にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

本日は、活発なご意見をいただきましてありがとうございました。

冒頭、高橋会長からご挨拶あったように、今年度は、2025年を見据えた形で第6期の介護保険事業計画を策定します。

策定までの期間、皆さまには、いろいろとご苦勞をお掛けしますが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

以上をもちまして、平成26年度第1回介護保険運営協議会を閉会します。

ありがとうございました。